

「馬頭大神」……………(新川3条13新川皇太神社境内)馬は全農家に飼われ開拓の陰の功労者であり、馬の健康を祈り、労苦へのねぎらいが“馬頭大神”となった。昭和24年建立。10月17日例祭。

「新川百年記念碑」…(新川4条14新川中央公園)碑は黒御影石と白御影石を配して川を表現。平成元年建立。

「近藤牧場」……………(新川694)牧場内には、大正14年に建てられたという木仕上げの珍しいサイロが残っており、貴重な牧歌的風景をもたらしている。

「新川緑地」……………(新川)小樽からの物資輸送・川の氾濫による被害防止のため、明治19年岩倉通俊長官時代に大規模な開削が行われた。

その時・東欧諸国で社会主義体制が崩壊し、独裁を放棄した。

- ・東京株式市場は年初から低迷を続け前年末に比べ10か月で、約50%も暴落し、バブル経済の終りが始まる。
- ・天皇の即位を内外に宣言する「即位礼正殿の儀」が皇居・宮殿で行われた。
- ・道央自動車道の深川～旭川東鷹栖間が開通し、札幌・旭川間が高速道路で直結。

平成3年(1991)

婦人部レク「百合が原公園、行刑資料館、月形温泉」を実施。北海道開拓に囚人労働が使われてた行刑資料館は感慨深いものがありました。

コープ新川三条店前に交通信号機設置される。新川中央小・中学校の登校時間とマイカー出勤とが重なって短時間だが、交通ラッシュ状態になっていたのです。

市は資源回収団体に奨励金交付、第四町内会は子供会が継続することになりました。

浅田連合町内会長退任(6期12年勤める)

その時・雲仙普賢岳が噴火し火砕流が発生、死者41人の災害をもたらした。

- ・ゴルバチョフソ連大統領が共産党の解散を宣言し、ソ連邦は消滅した。
- ・前年、イラク軍がクエートに侵攻、国連安保理の決議を無視したため、湾岸戦争となる。
- ・環境庁はスパイクタイヤ使用禁止区域に札幌圏を指定した。

平成4年(1992)

第四町内会世帯数540戸となる。

30周年記念事業実施のため積立金を開始。

第22回連町運動会第四町内会総合4位(安全運転リレー3位、対抗リレー女子3位)

婦人部施設見学会「真駒内地下鉄車両基地、清掃工場、駒岡保養センター」実施。

婦人部レク「小樽水族館、旧余市運上屋、山本果樹園(いちご狩り)、フゴッベ温泉」で実施。果樹園は雨後のぬかるみと早過ぎたイチゴのため、お土産にイチゴ1パックずつ貰いました。

新川会館増築工事完成。

新川6号線拡幅工事開始。(5か年計画)、新川高速道路開通。

その時・毛利衛さん宇宙へ、宇宙授業や数々の実験をこなして無事帰還した。

- ・岩崎恭子さん、バルセロナ・オリンピック平泳ぎ200m優勝(史上最年少14才)日本中がわいた。
- ・バブルは完全に崩壊し、証券会社は軒並み赤字、銀行や自動車業界も不振にあえいだ。
- ・新千歳空港に新旅客ターミナルビルが開業、国内では成田に次ぐ広さである。

平成5年(1993)

7代目会長 長沢弘氏就任

第四町内会住居案内図板作成設置(副会長三橋重造氏の奉仕)

第18回新川納涼盆踊り大会、第四町内会は当番です。14～16日の3日間1,000人を超える空前の人出で盛会裡に終わりました。初日は雨で15分程で中止、最終日は仮装大会11組40名の参加。1位第八町内会「万国へそ踊り」当町内会4位でした。

街灯部、水銀灯からアームレス灯に切り換え進む。

福祉部、敬老会「ビッグシップ」で実施。地区会館は手狭になり、会場を変えて実施。75才以上の招待対象者725名で前年より50名増加。229名の出席者で第四町内会出席者16名。

婦人部施設見学会「泊原子力発電所」実施、原子力発電の安全性について勉強しました。

婦人部レク「スエーデンヒルズ、北村温泉」実施、異国情緒漂うスエーデンヒルズを見学し、温泉でゆっくり汗を流しました。

第23回連合町内会大運動会、再三の雨天のため中止、大運動会開始以来のハプニング。

新川中央小学校開校20周年記念。緑化推進協議会(ロータリークラブ協賛)で、オンコ10本、イチョウ9本、また生徒の手で桂、ミズナラ(どんぐり)、山紅葉を校庭に植樹。

その時・皇太子徳仁親王と小和田雅子さんの「結婚の儀」が皇居で挙行。

- ・大相撲初場所優勝の曙が外国人初の横綱になる。
- ・北海道南西沖地震が発生、各地に津波襲来し奥尻島で壊滅的被害を被った。
- ・全国的な冷害により大凶作(本道の水稲作況指数は41と戦後最悪)、米が不足し輸入した。

平成6年(1994)

第19回新川納涼盆踊り大会、第四町内会準優勝「サンバのリズム」(17チーム参加)

婦人部施設見学「藻岩浄水場、北欧パン、水質試験場、地方裁判所」を実施、実際の裁判を見学。

第四町内会ゴルフ同好会発足。

婦人部レク「岩見沢ふれあい体験ツアー、北村温泉」実施、岩見沢でウインナー作りを体験し、道

内有数のバラ園を見学。

新川連合町内会、機構改革「土木部、衛生部」を縮小して削除。第四町内会は従前とおりとしました。

その時・目まぐるしい政変劇が続き、4月に細川首相が辞任、続いて登場した羽田首相も6月に辞任、自・社・さ連立の村山内閣が誕生した。

・東京協和・安全の2信用組が経営破綻、金融機関の「不倒産神話」が崩れた。

平成7年(1995)

新川が「健康作り運動モデル推進地区」に指定。

第四町内会班編成の見直。

豪雪により、町内会の「除排雪事業」に困難を来しました。2月8日・9日・16日(午前中)の3日間にわたり夜間8時過ぎまで、役員18名が労役奉仕を余儀なくされました。除雪費用は例年をはるかにオーバー(684,245円)しました。

婦人部・町内会合同レク「定山溪第一ホテル」で紅葉の秋を楽しむ。

その時・阪神淡路大震災発生M7.2、震度7の激震・死者・行方不明者約6300人にのぼった。

・都営地下鉄サリン事件が発生し、国中を震撼させる。オーム真理教を強制捜査。

・空知炭鉱が閉山し、かつての石炭王国空知から炭鉱は姿を消した。道内では釧路の太平洋炭鉱を残すのみとなった。

平成8年(1996)

第四町内会世帯数561世帯となる。

防災訓練を西牧場公園で大々的に行う。役員、班長出勤。

A・Bブロック懇親会を長沢会長宅で松尾ジンギスカンをつつきながら行いました。(雨のため予定の西牧場公園から会場変更)

婦人部レク「丸川納豆、コカコーラ、清田健康センター」で実施。

「新川地区老人クラブ連絡協議会」設立、初代会長松浦武氏(故人)。

その時・古平豊浜トンネルで2万7千トンの巨大な岩盤崩落事故が発生。20人の犠牲者をだした。

・小選挙区比例代表並立制による初の総選挙が行われ、自民党が復調した。

・アトランタ・オリンピック開催、IOC加盟の197か国が参加する「完全五輪」となる。選手は1万人を越えた。

・記録的な豪雪、札幌の一冬の累積積雪量は680センチの新記録を残した。なお、1月9日から10日にかけて小樽では史上最高の84センチの降雪。

- ・「寅さん」が逝き、ついに「男はつらいよ」シリーズに幕が下りた。

平成9年(1997)

防災組織要綱制定。防犯部に事務局を置く。

婦人部レク「滝の上公園、丁未風致公園(幸福の黄色いハンカチ)、メロン城、ユンニの湯」で実施。昼食はジンギスカン・メロンの食べ放題でした。

第27回連合町内会大運動会で総合4位(一般町内対抗リレー準優勝、玉入れ準優勝、綱引き4位)

敬老会参加者21名(対象者75才以上65名の内)

街灯が水銀灯からアームレス灯への変換が進み第四町内会では36灯が実施済み、25灯を残すのみとなりました。アームレス灯は情緒溢れる街灯です。

第四町内会30周年記念事業実施、平成10年1月18日記念式典祝賀会、記念品「懐中電灯」を全戸に配布。

第6回ゴルフ同好会のコンペで連合町内会に呼び掛け、連町親睦ゴルフに輪を広げる。

JR学園都市線八軒～新琴似創成川間高架事業着手、町内沿線住民の境界線側に仮線敷設。

ゴミ収集の有料化試行。

その時・米空母インディペンデンス号が小樽港に寄港。見物人が36万人余の空前の人出。札幌の街にも水兵さんが見られた。

- ・北海道拓殖銀行・山一証券が倒産。日本版ビッグバン幕開け前の事件、預金者保護・金融秩序の維持が課題となる。
- ・日本海でロシアのタンカーが沈没し、重油により沿岸を汚染。船舶で過密状況にある我が国の海の危機管理が浮きぼりとなる。
- ・行政改革会議が小さな政府として、1府12省庁を答申。行政のスリム化・財政の立直しの一步を踏み出す。
- ・昨年12月、ペルー、リマの日本大使館公邸がゲリラにより占拠され、多数の人が人質となる。127日もの長い間、監禁されていた70余人の劇的救出作戦が成功。ホットする。
- ・イギリスでクローン羊「ドリー」君が誕生。完全コピー人間の可能性が話題となり、その倫理性が問われる。
- ・温暖化防止京都会議が開催される。CO₂を削減して地球を救おうと言うもの。全世界各国の積極的取組が要請される。
- ・イギリスのダイアナ妃、交通事故死。イギリス国民は勿論世界の人々に惜しまれた。



↑
婦人部レクリエーション
小樽水族館にて

婦人部レクリエーション
小樽水族館にて

↓



← 婦人部レクリエーション
月形温泉にて

交通安全母の会
パレード出発 →



← 行利資料館にて
館長さんの説明を聞く





← 健康作り事業（連町）
ふとみ温泉にて

新年交礼会
手稲健康ランド励明菜湯 →



← 町内レクリエーション
ジンギスカン（遠藤宅）

昔の札沼線風景
（現学園都市線） →



北区長表彰受賞者

町内会の部長以上の役員を永年勤め、その功績が著しいと認められ、表彰された方々です。

昭和62年

遠藤 恵治 山崎 百合子 北 弘子

昭和63年

遠藤 広 山本 定好 土生 春彦 三島 憲
佐藤 寛記 辻 五郎 金沢 一弘 笠原 誠
田中 婧子 大高 栄吉 山本 弘子 細川 栄次郎

平成2年

高杉 三夫

平成4年

長澤 弘 千田 悌順 田中正志

平成5年

吉沢 正義 本間 悦子

その他（連合町内会役員5年勤続）

平成4年 新川連合町内会会長表彰受賞者 山本 定好



盆踊り仮装大会



婦人部夏祭り 1万人パレード

歴代役員の方々

顧問	会長	副会長	会計	総務	衛生	土木	防火防犯	交通安全	
43 44	新川中央町内会 5分区 4分区の一部	連合町内会常任委員 連合町内会婦人部	遠藤 恵治(建設部長) 佐々木 イソ	田尾 梅一(分区長) 林 フミ子 新沼 トミ子			外不明		
45		遠藤 恵治 三原 義信 林 萬 土生 春彦	○山口 勝也	○佐藤 通(総) 辻 五郎(庶) 高橋 幸平(庶)	○栗田 誠秋 木田 和夫 日下 実	左と同じ	○遠藤 広 平瀬 由雄 三橋 重造 大井 和雄 小島 実	○林 萬 細川栄次郎 笠原 誠 高橋 克己 辻 五郎	
46	同上	同上	同上	同上	同上		同上	同上	
47	同上	同上	同上	同上	同上		同上	同上	
48	栗田 誠秋	同上	○根本 光春	同上	同上	左と同じ	同上	同上	
49	遠藤 恵治 栗田 誠秋	沢田 宅次 樋口 清作 遠藤 広	○山口 勝也	○下山 清次 駒井 英昭	○細川栄次郎 金沢 一弘 工藤 勇	○増田 順一 三上 定義 奥野 誠	○土生 春彦 山口 光男 安藤 真悦	○山田 慎一 浅尾 将典 根本 光春	
50	同上	同上	○武島 功 樋口 清作 日下 実	○下山 清次 山本 峯久 野田 敏男	○遠藤 広 大高 栄吉 工藤 勇	○奥野 誠 増田 順一 石島 増治	○土生 春彦 荒谷 清志 鈴木 正	○山田 真市 山西 安市 高畑 洋一	
51	同上	同上	同上	同上	同上	同上	○土生 春彦 平瀬 由雄 鈴木 正	同上	
52	同上	同上	三島 憲 遠藤 広 奥野 誠	同上	○林 萬 山本 峯久 樋口 清作 斉藤 勲藏	○増田 順一 大高 栄吉 工藤 勇 小林 清一	○小野 尚隆 金沢 一弘 坂本 要 遠藤 武	○土生 春彦 平瀬 由雄 鈴木 正 佐々木寅次郎	○山田 慎一 佐藤 祐二 高畑 洋一 南山 義明
53	同上	同上	同上	○遠藤 清	同上	同上	○小野 尚隆 金沢 一弘 橋本 孝 遠藤 武	同上	同上
54	同上	同上	同上	○斉藤 勲藏 山本 峯久 岩下 幸雄 村外 正秀	○山本 定好 前田 雅人 工藤 勇 小林 清一	○小野 尚隆 金沢 一弘 武島 英吉 川村 匠	○相沢 幸二 土生 春彦 鈴木 正 大高 栄吉	○山田 慎一 笠原 誠 根本 光春 南山 義明	
55	同上	同上	三島 憲 遠藤 広 奥野 誠 林 萬	同上	○岩下 幸雄 山本 峯久 村外 正秀 金井 透輝	○山本 定好 佐藤 寛記 工藤 勇 小林 清一	同上	同上	

街灯	婦人部	青少年育成委員	文教	福祉	体育	広報	会計監査
○土生 春彦	○新沼とみ子 林 フミ子 佐々木イソ 沼山 房子 武田イク子 坂下 光子 土生八重子 樋口シゲ子 遠藤 悦子						山本三三九 藤城 博
同上	同上						同上
同上	同上						同上
同上	○増田マサ子 平田みどり(会計)						同上
同上	○西原 久子 外班長を幹事						長尾 隼人 藤城 博
○長尾 隼人 金沢 一弘 岩下 幸雄	○富山 千代 北原美代子 山本 弘子						三橋 重造 藤城 博
同上	○土生八重子 久保田香子 小林 艶子	根本 春彦 増田万佐子					同上
○藤原 元利 駒井 英昭 下山 清次 吉村 菊治	○三上 きよ 相内 洋子 佐藤 幸江 佐々木信子	(兼)根本 光春 (兼)増田万佐子	○(兼)根本 光春 (兼)増田万佐子	○富山 千代 山本 弘子 小林 艶子 沢田 宅次 (兼民生委員)			同上
同上	○矢田 晃子 田中 靖子 北川 洋子 斉藤寿美子	(兼)高畑 洋一 (兼)川合 徳代	○(兼)高畑 洋一 (兼)川合 徳代	同上			同上
○藤原 元利 藤城 博 下山 清次 吉村 菊治	○吉川比佐子 酒井美枝子 水上千津子 高松 孝子	(兼)高畑 洋一 (兼)川合 徳代	○(兼)高畑 洋一 (兼)川合 徳代 田中 靖子 斉藤 修 松島千鶴子	○富山 千代 山本 弘子 小林 艶子 新野とみ子 沢田 宅次 (兼民生委員)	○佐藤 脩二 竹村 五郎 北川 洋子 矢田 晃子		辻 五郎 西川 和夫
同上	同上	(兼)高畑 洋一 (兼)五十嵐佳子	○(兼)高畑 洋一 (兼)五十嵐佳子 田中 靖子 松島千鶴子 斉藤 修	同上	同上		同上

	顧問	会長	副会長	会計	総務	衛生	土木	防火防犯	交通安全
56	同上	同上	三島 憲 遠藤 広 林 萬 北川 芳夫	○奥野 誠	○下山 清次 辻 五郎 大西 繁松 増田 順一	同上	○今中 規彦 金沢 一弘 岩下 幸雄 源 重夫	○山本 雄二 土生 春彦 大高 栄吉 相沢 幸二	○細川栄次郎 笠原 誠 武島 英吉 藤原 良造
57		遠藤 広	三島 憲 山本 肇久	○山崎 繁	○辻 五郎 大西 繁松	○山本 定好 佐藤 寛記	○金沢 一弘 源 重夫	○土生 春彦 大高 栄吉	○細川栄次郎 笠原 誠
58		同上	三島 憲 高杉 三夫	同上	同上	同上	同上	同上	同上
59		同上	同上	同上	同上	同上	○金沢 一弘 千田 悌順	同上	同上
60		三島 憲	長沢 弘 高杉 三夫	同上	○辻 五郎 持田 泰男	同上	同上	○山西 正俊 大高 栄吉	○亀井 敏公 笠原 誠
61	遠藤 広	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
62	同上	山本 定好	同上	○村山 祐一	○持田 泰男 鍋谷 次男	○佐藤 寛記 吉沢 正義	○千田 悌順 高橋 良次	同上	○佐藤 隆夫 笠原 誠
63	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
元	同上	同上	同上	○鎌田 俊一	○辻 五郎 山下 昭一	○吉沢 正義 丸 巖	○千田 悌順 高橋 政年	○渋谷 貢 平瀬 由雄	同上
2	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
3	同上	同上	同上	同上	同上	○吉沢 正義 工藤 八郎	○金沢 一弘 源 重夫	○渋谷 貢 石飛 博	○笠原 誠 辻 五郎
4	同上	同上	同上	同上	○佐藤 寛記 青地 治郎	同上	同上	同上	同上
5	同上	長沢 弘	佐藤 祐二 三橋 重造	同上	○佐藤 寛記 工藤 八郎	○吉沢 正義 西村紀代子	○金沢 一弘	○橋本 吉高	同上
6	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
7	同上	同上	同上	○藤原 元利	○小田原なほみ 金沢 一弘	○吉沢 正義 山岸 稔	同上	同上	○久保田国男 辻 五郎
8		同上	同上	同上	同上	同上	○笠原 誠	○橋本 吉高	同上
9		同上	佐藤 祐二 三島 憲	同上	同上	同上	同上	○橋本 吉高 山西 正俊	○川合 四郎 辻 五郎

注1：昭和49年から51年度まで、新川連合町内会では代議員制をとっておりました。当町内会からの代議員は次の通りです。

昭和49年度	伏見惣太郎	佐藤登喜夫	大友 武	源 重夫	渋谷不二男	中畑 悦郎
	西原 久子	藤城 博	佐々木正一			
昭和50年度	根本 光春	浅尾 将典	富山勝太郎	多田 勝男	川原木留蔵	松本 政勝
	関野 進	川原 義清	菅原 龍雄	今井 政義		
昭和51年度	樋口 清作	日下 実	下山 清次	遠藤 広	長尾 隼人	山田 真市
	三橋 重造	藤城 博	土生八重子			

注2：昭和45年度から48年度までは、衛生部は土木部を兼ねており、衛生土木部となっております。

注3：防火防犯部は昭和52年度から「防犯部」に改称されております。

街灯	婦人部	青少年育成委員	文教	福祉	体育	広報	会計監査
○田中 正志 石橋 勇 原田 慶司 折館 力	○西森妙美子 山崎百合子 下斗米美津子 細川久美子	同上	○田中 靖子 (兼)五十嵐佳子 (兼)高畑 洋一 長沢ミツ子 佐藤喜美子 吉野アヤ子	○富山 千代 北 弘子 山本 弘子 矢田 晃子 沢田 宅次 (兼民生委員)	○田中 辰雄 竹村 五郎 北川 洋子 佐藤 和子		外村 正秀 佐藤 利男
○田中 正志 石橋 勇	○山崎百合子 高畑 良子	遠藤 武	○田中 靖子 長沢ミツ子	○山本 弘子 北 弘子	○竹村 五郎 佐藤 和子		同上
○土生 忠幸 田中 正志	○山崎百合子 青田 栄子	同上	同上	同上	○佐藤 和子 日浦 進		村山 祐一 樋口 清作
○田中 正志 土生 忠幸	○山崎百合子 青田 栄子	同上	同上	同上	○佐藤 和子 持田 泰男		同上
同上	○山崎百合子 村山 幸子	同上	○田中 靖子 倉本トキ子	同上	○大河内寛之 佐藤 和子		同上
同上	同上	同上	同上	同上	同上		同上
千葉 孝 土生 忠幸	○三田キヌ子 山崎百合子	佐々木辰雄	○本間 悦子 田中 靖子	同上	○遠藤 久 大河内寛之	○佐藤 寛記	藤原 元利 宮内 清
同上	同上	佐々木辰雄(11月4日) 遠藤 武	同上	同上	同上	同上	同上
同上	○渋谷登代子 高畑 良子	遠藤 武	同上	○北 弘子 目黒 勝子	○遠藤 久 山崎百合子	同上	同上
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
○田中 正志	○小田原なほみ 渋谷登代子	同上	同上	同上	○大西 勲彦 山崎百合子	○川合 四郎	藤原 元利 山口 光男
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
○五十嵐房次	○小田原なほみ 西山 栄子	同上	同上	同上	○山崎百合子 遠藤 恵一	同上	藤原 元利 相内 孝一
同上	○小田原なほみ 松藤 紀子	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同上	○種畑 照子 松藤 紀子	同上	同上	○西村紀代子 目黒 勝子	同上	同上	鎌田 俊一 相内 孝一
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同上	○種畑 照子 佐藤 修子	同上	同上	○松田 和 目黒 勝子	同上	○久保田国男	同上

私が新川に来たころ

回 想

三 橋 重 造

その頃の新聞の見出しを思い浮かべると、「戦後20年真実の平和訪る」「所得倍増の経済政策」「世界平和を担う日本」等々、であろう。これ等は1964年東京で開催のオリンピックの前後のものであるが、戦争後の立直り（独立）を世界に示した大いなる意義を含んだものであった。このオリンピックが成功裡に終わったことが、日本の現在における礎を成したものである。

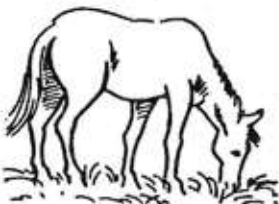
わが家が新川に定住したのもこの年であり、月賦で購入の白黒テレビに見入り、表彰式では必ず掲がる星条旗と米国の国歌に子供達はオリンピックの歌と定義付けていたものであった。

当時、新川4条2丁目は、琴似町新川394番地であり、所轄も現在の西区に類されていた。そして住宅は僅かに4軒点在するだけで周りは広い草原の中、南西の一角に土生農園が飼育する乳牛がのんびりと草原を啄む姿が見られたものであった。小学校も中学校も無く琴似中央小学校から八軒中学校が学区であり、札沼線（現学園都市線）を旅貨混合列車を引くC55型やC57型の機関車の勇姿が見られたのもこの頃であったろうか。

明渠の排水溝を掘れば「どじょう」がはね、食用の芹や三ツ葉を畑状の畦に摘み、野苺を採り、キリギリスを追ったことなども、今は昔日の夢、吹雪の猛威にたじろぎ、生活道路さえ無く、鉄道線路が唯一の緊急道路を呈していたものだ。思い出として思い出してもぞっとする。今では考えられもしないことだ。

町内会が結成されて30年と聞く。誠に欣しいことと思う。新川地区は、札幌の市勢と相俟って、田舎の態様から専住地域へと著しい発展の一途を辿った。生活道路及び上下水道等の整備、利用交通網の拡充誘致、教育施設の設置等々、町内会運動から成果を挙げたものが多々あったことと聞く。携った方々の並々ならぬ努力に対して感謝を申し上げられずにいられない。

未来永劫、限りなく続く地域の発展充実のために、ご苦労が山積することとは思われつつも、役員指導者の限りないご健闘をお祈り申し上げて止まない。



追 憶

丸 露 子

ふりかえれば29年前新川の住人になった頃は、家の南側は全部畑で、遠く遠藤さんのお宅が見えるだけでした。

春はヒバリがさえずり夜は蛙の大合唱で、生家が田舎でしたので大変なつかしく思いました。

学園都市線の辺りは大変なよし原で、北7条東3丁目に住んでいた私にはとても淋しいところという感じでしたが今の新川がこんなに立派な町になったことが大変うれしく思っています。

子供達も大学を出てそれぞれ巣立って行き、主人と2人の長い歳月、来た頃は働き盛りの御近所の方々も揃って80歳代になりそれぞれ病気がちになり、感慨も一汐です。今はささやかな年金と福祉に守られて静かな老後を送っています。

花の好きな私は、せまい庭に盛りたくさんに草花を植え、その世話が私のストレス解消です。

主人が元気な頃はよく新川の河のほとりを散歩した事が、遠い昔の事の様に思い出されます。

第四町内会も30年とのこと、ほぼ私達と共に歩んだ歳月ですね。町内の新年会、市内の見学や運動会、ぼんおどり、それに年に一度の文化芸能フェスティバルにも参加させて頂き、とても楽しい一時を有難く思っています。

今後共新川が益々住みよい町になり住人が幸福な日々を……と祈るばかりです。

最後に私事で申訳ありません。私の和紙との出合は、今から12年程度前、西区民センターで、和紙を素材に色々、風景、動物、花、果物と、自由に手でちぎってその見事さにびっくりしました。

昔から日本人に愛される和紙、その用途は色々で紙の優しさ、その手ざわり、美しい色にすっかり紙のとりこになってしまいました。

それから、約10年近く、生徒も10人余りと自宅で楽しくお勉強しています。フェスティバルではつたない絵ですが、皆さんの御厚意で発表させて頂いています。これからも和紙と友と、仲良く頑張りたいと思っています。



30年あれこれ

五十嵐 ヒサ子

昭和38年12月8日に現地に住宅を建ててから、はや30余年になります。私達は琴似西八軒におり、子供は小学校六年生で琴似中央小学校に通っていました。それ程遠くない場所への引っ越しでしたが、それでも田舎と思いました。広い土地に住宅があるのは2軒でした。私宅と小田原さん宅です。そして、西牧場通りの北側の第四分区に大畑さん伊藤さん宅の借家が10軒くらいありました。

その頃は個人で路上に砂利石をひいたり電柱を建て街灯を付けました。冬は雪が積もると西牧場通りまでの雪はねは大変でした。早く春が来たらと思いながら雪はねしましたが嫌でしたね。

食品の買物は、新川病院近くに新川市場がありまして、悪路の中、西牧場通り

から茨戸街道に出て、毎日、買出しに出掛けました。

昭和42年頃から2軒、3軒と建ち始めて来ましたが、それでも、まだまだ空
地が有りまして緑のジュウタンを敷き詰めたような感じです。子供さん達等は、
元気によく相撲を取ったり、キャッチボールをしたりして、遊び場として飛び回
っていました。子供さんは良かったと思います。

春はヒバリが青空高く、鳴きながら舞い上がっていました。夏はホタルも居り、
秋はキリギリスが鳴きました。今、思いますと空気も良く澄んでて遠くを見ると
手稲の山が映画のように見えるのです。朝見ると「今日も元気で仕事しましょ
う」と思いましたね。懐かしく思い出します。

その頃は、学園都市線(旧札沼線)は国鉄の時代でしたから、SL機関車が走
っていました。汽車が通ると「地震」のようでした。そして、煙がひどく白い洗
濯物は煤けて大変でした。当時、皆さん方も燃料は石炭でした。円筒掃除
が大変でした。

家の回りは牧草の大平原にいるようなものでしたからドブ鼠が出たり、夏は蠅
や蚊が出ましてね。バルサンや蚊取線香やフマキラ等、良く使ったですよ。

月日が経つにつれ住宅も段々多くなって来まして、今は建物が道路沿いは殆ど
建ちましたね。これが30年経った町内会の姿ですね。第四町内は思いやりのあ
る町内で良かったです。この雰囲気は今後も持ち続けて欲しいと思います。私も
71才になりますが、「どのくらい」長生きしますかね。お逢いした時は元気に
声を掛け合って行きたいと思います。よろしく。



町内会ふんとう記

新川にきて

会 計 藤 原 元 利

私が現在地に來ましたのは、昭和43年11月、早いもので29年にもなりま
す。

今は家の前にも大きなマンションを初め家がびっしりと並んでいますが、当時
は草原で家がまばらに建っている程度で見晴らしもよく、新琴似4番通りの大き
な建物や鉄道などが見え、空地では子供達とキャッチボールで遊んだものでした。

道路も砂利道で、きちっとした排水溝もなく、大雨が降る度に周りが水びたし
でした。バスは札幌からの殆どが北29条西5丁目迄で、新琴似迄は日に5本位
また琴似麻生間は小型マイクロバスで、今では懐かしく思い出します。

当時新川は琴似町に属していた為、八軒連絡所に転入届、小学生の娘が居りま
したので、琴似中央小学校へ転校手続きを済ませ、取り敢えずひと安心と言うと

ころでした。

昭和50年頃と思いましたが、班長を引き受け以前迄は任期が6ヶ月のところ1年に変わりました。引き続き街灯部の役員となりました。街灯部の仕事は主として、町内を廻って電球の切れているのを交換することでした。

当時は今と違い、水銀灯でなく電球の為、切れ易く特に冬は電球に雪が付き、また寒さの為通電されると、電球が温度差の為夏より割れる事が多かったです。毎週電球を持って巡回しますが、電柱によっては足場がない為、長い梯子を担いで廻ったものでした。

こんなこともありました。吹雪の夜10時過ぎ、現在8町内(当時四町内)のある家より電話があり、“前の街灯が切れている娘が遅く帰って来るのに危険なので直ぐ電球を点けてくれ、町内会費を支払っているのに何をしているんだ”と強い口調で言ってきました。直ぐに電球を取り替えましたが、自宅より遠く梯子を持っての吹雪道は、大変であった事思い出します。

昭和50年頃から勤務の関係で、役員を休みました。その後会計監査、会計係と何んらかの形で町内会との関わりをもつようになりましたが、これも私の人生の一端なのかな、と思って居ります。



敬老会と子供会

北 弘 子

私は新川に住居してから27年目に入ろうとしています。当初は自然がいっぱいでした。

初めての札幌の冬は歩く道が無いという、今まで経験した事もない雪国の生活でした。

しかし生活も年々慣れて来て、近くに小学校が設立される、というニュースが届きました。実現した時の感動、地域の方々の努力が実って感謝致しました。

私も2人の子供が小学校へ入学し、解らないまま役員をやっている間に、子供会を作る準備委員会になりました。町内会、PTAと何ヶ月も会議を持ち、区民センターの職員の力添えで発足しました。

まずは夏休みグラウンドにテントを張り、キャンプのまねごと、焼き肉をして大人も子供も一緒に食べ、大はしゃぎでした。翌朝ラジオ体操して解散、皆テントで寝るのが初めて、さわいどり走りまわったり楽しそう、大人達は一晩中見まわり疲れがありましたが、怪我もなく無事終えほっとして、“よかったね”これが第1歩です。

すっかり味をしめた子供達は年間スケジュールでキャンプが1番のメニュー、何度も親子で会議の場を持ち、札幌市のキャンプ場へ少し遠出、家庭ではした事

のない米とぎ、薪割り、野菜きり、小さな手で作って食べる最高のよろこび、どの顔も生き生きとしています。

さまざまな学年集団の生活体験は協力し合い、一つの事を成しえる楽しさを覚えたと思います。

また9月15日の敬老会のお手伝いもさせていただきました。前日材料購入後下準備、地区会館で大根、人参、ゴボウ、コンニャク等切ったり、ゆでたり全福祉部員が集まり楽しい時間、当日は味付けして、テーブルにお弁当、手作りの豚汁、果物を並べ、お酒も入り歌あり踊りあり、楽しい余興の2時間、自作自演に手拍子、皆さん芸達者です。

「毎年楽しみにしている」と時間が足りない様です。“又来年も元気に参加させてもらうよ”と云ってお礼をいって下さいます。健康で長寿、生き生きとした老後、この人達の苦勞のかけで今日の新川の発展30年を迎えるに到った事を
お礼申し上げます。これからも明るい新川でありますよう期待します。



30周年によせて

高畑 洋一

町内会が結成されて30周年を迎えると聞き、時の流れの速さを痛感しています。

当町内会にお世話になって24年ですが結成に携わった当時の人達の苦勞に感謝いたします。

私も微力ながら、10数年前に交通部、文教部員（青少年健全育成委員）として役員をさせていただきました。

単町独自の活動はほとんどなく、主に連町との関連での活動でした。

活動内容を思い出されるままにあげてみます。

交通部では連町主催の交通安全パレードの参加。

文教部では、区少年・少女スポーツ大会でサッカー種目（小学男子）に出場しました。

当時は今の様なサッカー人気はなく、選手がなかなか集まらなかった事を記憶しています。

私はサッカーの「ルール」などほとんど知らなかったのので、本などを読んで調べながら、8月末の大会に向けて、朝練習などを夏休み中に行なって参加しました。残念ながら勝てなかったです。

夏のキャンプでは、元気な子供達で、なかなか寝れないで、夜遅くまで、さわりで楽しそうに過ごしていました。

冬の運動会では、寒さや雪、雨などの天気を心配しながら行ないました。その

中でお汁粉を作って食べたことなどが思い出されます。

又各区の成人式の手伝いの中では、若者達のはなやかさなどを見る体験をさせていただきました。

いずれも主に小学生が対象の行事でしたがその子供達のエネルギーに頼もしさを感じました。

30周年を一つの契機に町内会の新たな出発点になることを期待しております。



雪との闘い

金 沢 一 弘

私が4町内に住んだのは昭和42年9月の末頃です(3条2丁目)。当時の住宅は4条3丁目、3条2丁目を南北に、4・5軒ほどよりなく 私の前は土生さんの畑と牧草畑でした。

この辺は春・夏・秋は 大変住み良い所だと最初思ったのです。ところが冬が大変、雪が多くて、吹雪になったら、道路の吹きだまりで胸まで積もって、朝起きて道を開けるのが冬の朝の始まりと覚悟しておりました。

こういうくり返しの数年が、昭和47・8年頃まで続いたと思います。この頃の時代はどここの町内会でも同じことでしたので、さほど苦労だと思いませんでしたね 当時会長 沢田宅次さんが、除雪に関して色々骨を折ってくださりまして、大型キャタピラのブルドーザーで除雪した事もありました。

50年代に入ってから市の除雪が、所々に入る様になってから、徐々に4町内の冬の悩みも少し解消するところとなり 土木の仕事も、一寸楽になった様に思いました。

所が春になって道路があちら、こちらと穴があき市の助成で碎石を入れる事になり大変苦勞しました。4町内はそうでもなく新道の西側(当時まだ出来ていません)が特にひどい状態でした。この年代の頃から、道路も整備され舗装されるようになって、次第に町らしくなり、又、上下水道が入って来ました。

50年半ばから各町内会の、排雪作業が始まった様に思う。これには、町内の方々の協力が大でした。本当にありがとう心の底から感謝の気持で一杯です。取り留めのない話で誠に恐縮です。土木部に対して御協力ありがとうございます。



会長に感謝

久保田 國 男

一昨年の春、会長・佐藤副会長が我家に立ち寄り、町内会の役員をして欲しいとの事。

引越して来たばかりと云う口実で、何度かの役員の誘いを断り続けて来た私だが、そろそろ協力しても良い時期だと思い「一番暇な役なら」との条件付きで

引き受ける事にした。

会長の話では「年に2～3回、会合があるだけだから」との事で交通安全部に籍を置き、気軽な気持ちで連町の交通安全部総会に出席したのだがどう云う訳か、連町の部長に推薦されてしまい、思いもよらず忙しい2年間の始まりとなったのである。

春の交通安全パレードに始まり、連町運動会の交通整理、盆踊り、各交通安全期間中の街灯啓発、排雪の交通整理等、仕事が次から次へと続き、当町内会の会合を含めて25回以上の出席となる。

前任者の話をどう聞いていたのか、ずいぶん会長の話とはくいちがいが、これは意図的なものだったのかと疑わずにはいらなかった。

めまぐるしく終えた2年間の交通安全部長を通し感じたこと。

1. 子供より大人（特に父母）の交通マナーの悪さ。
2. 夜間の自転車の無灯火（車からライトを付けていない自転車はほとんど見えない）
3. シートベルト着用率の低さ（40～50%の人がいまだにシートベルトをしていない）それらが事故へつながる原因であること、加害者、被害者にならない為にも、交通ルールを守って欲しい。

交通安全部長として予想外の忙しい日々も、今振り返ると、他町内会にも大勢の友ができてそれなりに楽しい経験であった。

これも会長のおかげ……………

今期は広報部長として頑張っている。



衛生部の仕事

吉 沢 正 義

私は昭和43年8月22日札幌市琴似町新川395番地12の現住所に家を建て入居しまして現在に至る。其の当時以来今日まで向3軒隣の人達の変らぬ隣人愛とお交りに何時も有難く感謝して居ります。61年3月より第4町内会3班の班長をして居りました時、衛生部長の佐藤寛記さんに副部長を是非にと頼まれました。私は20年近く町内会の人達に何かとお世話になり、今日まで無事に暮らして来たが、皆様方の何かお役に立つ様な御奉仕でもあれば、と思って居りましたので、私の様な者でも良ければと、心よく引受けました。

63年度新川第4町内会定期総会に出席した時に、佐藤寛記さんより、第4町内会の衛生部と連合町内会の衛生部との交りや、年中行事内容に就いて、色々懇切な説明を受けました。

同年リヤカーに清掃用具の竹箒、草刈り、鎌、ゴミ袋、軍手等を積み込んで、

16名の新班長宅1戸毎に2人で挨拶をし、清掃用具を渡し、春と秋に行う町内各班毎にする「一斉清掃とゴミステーションの清掃及管理」等に就いてのお願い等をして町内を廻りました。

又6月の新川連合町内会大運動会は、新川中学校グラウンドで、連町の土木部衛生部合同で、用具係をし、競技の種目別に迅速に用具を揃えて、出し並べる。大変でした。

8月14日より16日まで納涼盆踊り大会会場は西まきば公園で行われ会場の整理係を14日15日の2日間勤めさせて貰いました。

9月4日には4町内のレクリエーションを遠藤広さん宅横広場で、45名の人数で、ジンギスカン鍋を囲んで、楽しく自己紹介等親睦の時を過ごしました。

64年1月7日昭和天皇崩御新年号は平成と改元されました。

私は平成元年4月衛生部の部長となり今日に至ります。

昭和43年8月より平成9年10月まで現住所に在りて早くも30年の歳月を迎える事になります。第4町内会の発展と繁栄を祈り申し上げます。



30周年記念によせて

青少年育成委員 遠藤 武

第4町内会が30周年を迎えて、私も町内の一員として心から喜びを感じております。

先に、長沢会長より30周年を折念して記念誌を発行するにあたり、現在委嘱されている青少年育成委員会のあゆみについての原稿依頼がありましたので、この機会に町内会の皆さんに育成委員会の活動状況を知っていただきたく原稿の依頼を受けた次第です。与えられたページが限られているので、札幌市や各区の行政機関の関連行事等については詳しくは紹介できませんが、青少年の健全育成及び非行化防止対策などについては、他の各関係団体などとも連携をとりながら協力活動を行っています。

新川地区育成委員会では、当所から成人式、少年少女スポーツ大会、キャンプなど毎年慣例の行事をこなしてきました。また数年前からできるだけ多くの子供達が参加できるようにオリエンテーリングや幼稚園から高校生による音楽会なども取り入れております。

今年は趣向を変えてキャンプの代わりに行き先不明の（ミステリー列車）を企画し、父兄も参加できるかたちで行った結果、参加者も多くなかなか楽しいものとなりました。

又、北区少年少女スポーツ大会では今年女子ドッチボール優勝、男子ドッチ